

本単元で育む主な情報活用能力

G-STEP4, H-STEP4
D-STEP4, F-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・探究的な学習に主体的・協働的に取組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。
- ・多様で複雑な社会において円滑で協働的な人間関係を形成する資質・能力を養う。
（学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・情報を見比べ評価し、活用する。

単元における学習の展開（10時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

| | |
|--------------|---|
| 第1次 (4時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・『いろいろな違いがあることを知ろう』他者理解学習(1時間) ・『違いからくる不便・私たちにできること』(1時間) ・『みんなちがっていいんだよ!』(1時間) ・『国際理解学習』(1時間) <p>ワールド学級の始業式に向けて、自分のルーツのある国の言葉や歴史、文化を学んだり、お互いの気持ちや考えを交流。</p> |
| 第2次 (3時間) | <p>他者理解『見える不便・見えない不便について理解していこう!』(☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見える不便・見えない不便の2つのテーマから班で選んで調べたことを、ICT端末を活用してまとめていこう!(1時間)(本時) ・発表スライド・原稿をつくろう(2時間) |
| 第3次 (3時間) | <p>発表準備をしよう(2時間)(☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒に発表しよう(1時間) |

本時のねらい

- ・学校図書館を活用し、自らが知りたい知識を読み解き、発表スライドにまとめる。

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | 学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点 |
|--------------|--|---|
| 導入 (5分) | <p>1. 図書館の使い方を確認し、班での役割を分担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で決めたテーマをもとに ①どのような発表にするか(方針)、班のメンバーでそれぞれが何を調べるかを役割分担し、図書館の本を使って、調べる。 ②調べた内容をiPadのキーノートにまとめる。 <p>また、図書館の本で具体的に調べた内容や気になったことを記録する。</p> <p>【生徒が決めたテーマ(抜粋)】〈見えない不便〉①『視覚障がい者が日常生活で直面する様々な困難について』 ②『公共の場所でのバリアフリー化について』 〈見える不便〉①『車椅子による生活のメリット・デメリットについて』 ②『聴覚障害者とのコミュニケーションを円滑にするためにできること』</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用について、指導する際に、インターネット上の情報と書籍との整合性について説明する。 |
| 展開 (35分) | <p>2. 自分の気になる内容の図書を見つけて、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの図書を確認し、自分の興味のある内容を見つける。 ・図書の内容を記録し、スライド作成につなげる。 ・調べた内容のわかりやすさ、見ている人を引き付ける魅力などの見せ方を工夫する。 | <p>他者理解についての本をあらかじめ司書教諭と相談してピックアップしておき、効率的に調べ学習ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方がわかる用紙を事前に準備し、スムーズに作業にはいれるようにしておく。 |
| まとめ (10分) | <p>3. 作品を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作成したスライドと他者のスライドを共有する。 <p>これらの活動を通じて、生徒たちは他者を理解し、協力し、共生する力を育てていく。また、自分自身の長所や短所を客観的に捉え、自己受容につなげていく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートを活用し、良かったところ、気づいたところをそれぞれ書き込ませる。 |

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

〈学校司書との連携〉

学校司書に、他者理解についての書籍をあらかじめピックアップしてもらったので、生徒が効率的に調べ学習を行うことができた。また、ピックアップされた図書をきっかけに、他の書架にある図書へと調べる範囲を広げる生徒もあり、調べ学習の広がりを感じる手段となった。

このような実践例を職員会議で発信する中で、学校図書館を利用した授業づくりの良さを共通理解し、2学期につなげることができた。